

青森から盛岡から 長野から多くの仲間が集まりました！

月二五日に第十七回



婦人部長あいさつ

わる一月二五日新橋交通会館にて国労東日本婦人部委員会が開催され、北は青森・盛岡から西は長野から多くの婦人部員が集まりました。

ストレス・疲労なども婦人部実態調査でもわかるように大変なものです。昨年の中央線の切り替え事故や下請けのバケツト事故など事故が多発していますが一方的なメンテナンスの外注化・合理化によるものです。

私たちは、クリーンスタッフや契約社員臨時雇用員などの雇用形態の違う労働者とも連帯して労働条件の向上のため闘わなくてはならない。今日一日労働実態を出し合い、明日からの力を生み出す委員会にしてほしい。

東日本本部あいさつ

昨年十一月二二日最高裁の判決が出されたが、国労の主張を認めない不当なものだった。

闘争団のJR復帰はまったく道

を閉ざしてしまった。これからは、この決議を守る闘いに全力を

そそいでいきたい。

まずはJR組合員の支援体制を

整え、闘争団の生活を立てなお

し、物販などの運動を強めていかなければならぬ。

東京

榎本争議のほうは昨

年六月に支援する会を解散し終了した。勝つことは出来なかつたが闘ってきたことで多くの人に勇気付けられた。現在はケアマネージャーとして週三回社会福祉協議会で働いている。

O.P.室で緊急手術でナースが呼び出されたが、手当てが何もつかない。レントゲン技師や検査技師は列車に乗った時点から超勤扱いになつた。患者の命が差し迫つた中での呼び出しについて後から手続きが違うといって超勤を出さないのはおかしい。結局始終業を繰り上げて一時間の超勤で納まつたがおかしい。

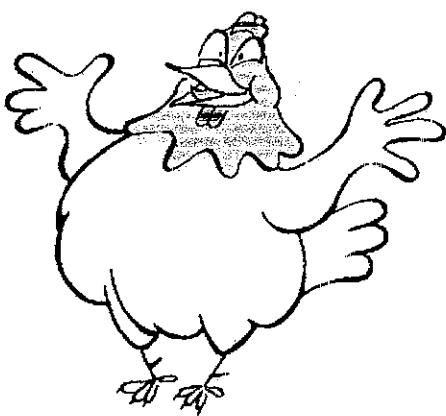
盛岡

昭和六一年から四期

十六年一ノ関市会議員としてやつてきた。十一月三一日をもって任期満了で、一の関駅に復帰した。当時の仕事をいろいろの字役員をやつてきて皆さんからも応援をいただいた。これからも支援をいただきてやつていただきたい。

仙台

昨日仙台の婦人部委員会を開催した。仙台病院の状況は変わっていない。ナースの下さんは、内視鏡の資格をもつている。夫もJR社員で夜勤勤務があるので、病室勤務をと言われている。退職が出ると穴埋めは臨時雇用員なので仕事が最初からはわからないので大変だ。



郡山 昨年七月より郡山駅テレホンセンターに出向社員が入った。私たちには追い出されたという意識だ。私たちは三一体制でやらされていた業務を彼らは七人体制でやっている。(我々が要員要求しても十分だと決して決して補充しなかったのにおかしいじゃないか?)

高崎

私は今年で退職になる。テレホンの委託の話は出るが今のところあまり心配はしていない。遺失物の検索の機械が入るようだ。制度が変わったり機械が変わったりいやだなあと思う。明日はその機械の講習を受ける。不安がある。

長野

信濃エンタープライズのKさんは、年休がうまく入らない。JRからの出向は一人だけだ。(五日は年休がいっぱい入っていて理由に組合だといつたら、優先順位から落とされた。

長野駅には私とKさんがいる。前は二ヶ月前の明示も変更が可能だったが、最近は年休だといつてきている。今までと雰囲気が違う。

水戸 平成八年にC等級合格したが、今年も発令は無かつた。いつまでも看護師のままB等級の受験資格もない。

青森

自動車からスワロー・ツアーや青森に出向に出て六年目になる。地区の人たちとの交流が

ない。出向に出でかかる制服の新調がないしもともと枚数も無いので替えが無く困っている。

委員会終了後第1回常任委員会を開催した。左記役割分担を決めた。

役員分担



新役員紹介

婦人部長	佐々木久恵
副部長	小野寺京子
常任委員	横山幸子
清塚久子	倉石真知子
倉石真知子	齋藤七重

教宣

齋藤七重

総括 組織 調査

佐々木久恵 小野寺京子 横山幸子

第1回常任 委員会開催

婦人部実態調査

二〇〇三年婦人部実態調査をまもなく発刊します。私たち国労婦人部の闘う根拠がこの中にあります。おたのしみに!

おたのしみに!
おたのしみに!
おたのしみに!